

親の願い

親の願いと言われましても…

岐阜市立岐阜小学校

PTA会長 船戸 健太郎

「勉強ができる子になって欲しい」

「スポーツを頑張ってほしい」

「友達をたくさん作ってほしい」

「楽しい人生を送ってほしい」

なんにしても、親の願いなんてものは子どもにとっては有難迷惑なものだと自覚するようにしています。

僕らにも子ども時代があったわけですが、「親が教育熱心で良かった」なんて友人の話は聞いたことがありません。

自分は絶対正しいと思った瞬間に人は人に寄り添えなくなっていく気がします。

親子の関係において、大人の方が子どもの言う事に耳を傾ける姿勢を欠くことはよくあることでは

ありますし、頑張っていることを分かかって欲しくもなります。そこがコメントロールできるんだったら夫婦喧嘩なんておきません。

だから、自分の親としての独善性を認めて、むしろ「子の願い」を知ることから始めたいと考えたりもしますが、子どもってというのは意外と無邪気なばかりではなくて、「どう思う?」「どうしたい?」という類の問いかけに対して「正解」を探すことがあります。この場合の「正解」というのは「大人が喜ぶであろう返答」という意味です。

小学一年生の長男の性格もあるんでしようし、親が気が付かずのうちに押さえつけている影響でもあるのでしようし、処世術とでも言うのでしようか、知恵をつけている成長の過程とも思えますし、はたまた本当の気持ちなのかもしれません。

ともすれば、我が子の本当の願いつつ尋ねれば分かるものとも限

ないでしょうか。

我が家は結構なババツ子家族で、子どもにはよくなつかれている方だと思いますが、それでも僕自身、たかだか四十年の人生のたった一人の経験をさも真理のように、我が子を思っている事だという親の正義を振りかざし、自分の都合や感情を耳障りのいい言葉で語りすぎていると思います。ただ一方で、親なんて所詮そんなものだとも思っています。

親が聖人君子じゃあるまいし、我が子に見栄を張るなど言われたってカッコはつけてしまいます。人間だから、意地になってしまいう事だつてらないわけで、人間同士、コミュニケーションを重ねた信頼関係の上でしか相互理解が難しいのには大人も子どももないのでしようね。不思議なものです。

親子共々、お互い良く思われたという気持ちで、相手にとって一番邪魔になるなんてことが起きうるなんて。だから、ある程度開き直って究極的に自分の親としての願いは何かと結論を出すとするば、「子どもの頃、親父がよく遊んでくれたな」「母ちゃんの作った飯が食いたいな」そう思ってもらいたいってことも知れませんが、実際カッコつけた言い草ですが、実際一番カッコいい評価な気がします。

親の願い

親の願いと言われましても…

岐阜市立岐阜小学校

PTA会長 船戸健太郎

「勉強ができる子になって欲しい」

「スポーツを頑張ってほしい」

「友達をたくさん作ってほしい」

「楽しい人生を送ってほしい」

なんにしても、親の願いなんてものは子どもにとっては有難迷惑なものだと自覚するようにしています。

僕らにも子ども時代があったわけですが、「親が教育熱心で良かった」なんて友人の話は聞いたことがありません。

自分は絶対正しいと思った瞬間に人は人に寄り添えなくなっていく気がします。

親子の関係において、大人の方が子どもの言う事に耳を傾ける姿勢を欠くことはよくあることでは

ありますし、頑張っていることを分かって欲しくもなります。そこがコントロールできるんだったら夫婦喧嘩なんておきません。

だから、自分の親としての独善性を認めて、むしろ「子の願い」を知ることから始めたいと考えたりもしますが、子どもってというのは意外と無邪気なばかりではなくて、「どう思う?」「どうしたい?」という類の問いかけに対して「正解」を探すことがあります。この場合の「正解」というのは「大人が喜ぶであろう返答」という意味です。

小学一年生の長男の性格もあるんでしようし、親が気が付かずのうちに押さえつけている影響でもあるのでしようし、処世術とでも言うのでしようか、知恵をつけている成長の過程とも思えますし、はたまた本当の気持ちなのかもしれません。

ともすれば、我が子の本当の願いつつ尋ねれば分かるものとも限

ないでしょうか。

我が家は結構なババツ子家族で、子どもにはよくなつかれている方だと思いますが、それでも僕自身、たかだか四十年の人生のたった一人の経験をさも真理のように、我が子を思つての事だという親の正義を振りかざし、自分の都合や感情を耳障りのいい言葉で語りすぎていると思います。ただ一方で、親なんて所詮そんなものだとも思っています。

親が聖人君子じゃあるまいし、我が子に見栄を張るなど言われたってカッコはつけてしまいます。人間だから、意地になつてしまふ事だつて

らないわけで、人間同士、コミュニケーションを重ねた信頼関係の上でしか相互理解が難しいのには大人も子どももないのでしようね。不思議なものです。

親子共々、お互い良く思われたという気持ちだが、相手にとって一番邪魔になるなんてことが起きうるなんて。だから、ある程度開き直つて究極的に自分の親としての願いは何かと結論を出すとするれば、「子どもの頃、親父がよく遊んでくれたな」「母ちゃんの作った飯が食いたいな」そう思ってもらいたいってことも知れませんが。

カッコつけた言い草ですが、実際一番カッコいい評価な気がします。